



平成27年9月発行 発行 砺波カイニョ倶楽部 代表幹事 出村 忍 事務局 富山県砺波市表町 14-10 電話 0763-33-6588 天野一男建築工房内

カイニョ剪定講習会が開催

8月22日午前8時30分から散居村ミュージアムにて市との共催で剪定講習会が開催されました。天候は曇り。参加者は当会から7名でした。樹木をいっそう優しく力強く育てる事が出来ます。



講習会の様子. 1



北日本新聞 8月24日付け

- 本来、カイニョは、「剪定」や「枝打ち」は行わないのでは？ (天野一男より)
カイニョの落ち葉や枝葉は燃料にしてきた。よって、剪定や枝打ちは行ってはいけない。
しいて言えば、垣根や下枝を整理し風通しと日射を確保する程度で、「枝落とし」などの言い方をすれば如何？
現在、昔からのカイニョの役割もほぼ終わりましたので庭木として扱うのもよいですね。
*ウイキペチア (フリー百科事典) より
・剪定 (せんてい) とは樹木の枝を切り、形を整えたり、風通しを良くする事。庭木の手入れとして行われる。見た目を美しくするのみでなく、養分を効率よく利用させて生長を促進したり、病虫害の繁殖を予防する効果がある。骨格枝を明確にする事を整枝 (せいし) と呼ぶが、一般的にはこの作業を剪定と呼ぶことが多い。
・枝打ち (えだうち) は、樹木の枝を幹から切り落とす作業のこと。林業における保育作業の一つ。

「武蔵野市 屋敷林・緑化の視察 企画」が

安曇野 屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト リーダー 場々洋介様から届きました

趣旨: 武蔵野市は緑の保全に対して積極的な制度を整えています。屋敷林や樹木が公的場所から見える場合、公的財産として補助制度があります。 緑被率25%は、素晴らしい取り組みであります。よって、緑化への対応を視察する。

記

□日時 平成27年11月13日 (金)

□場所 東京都武蔵野市

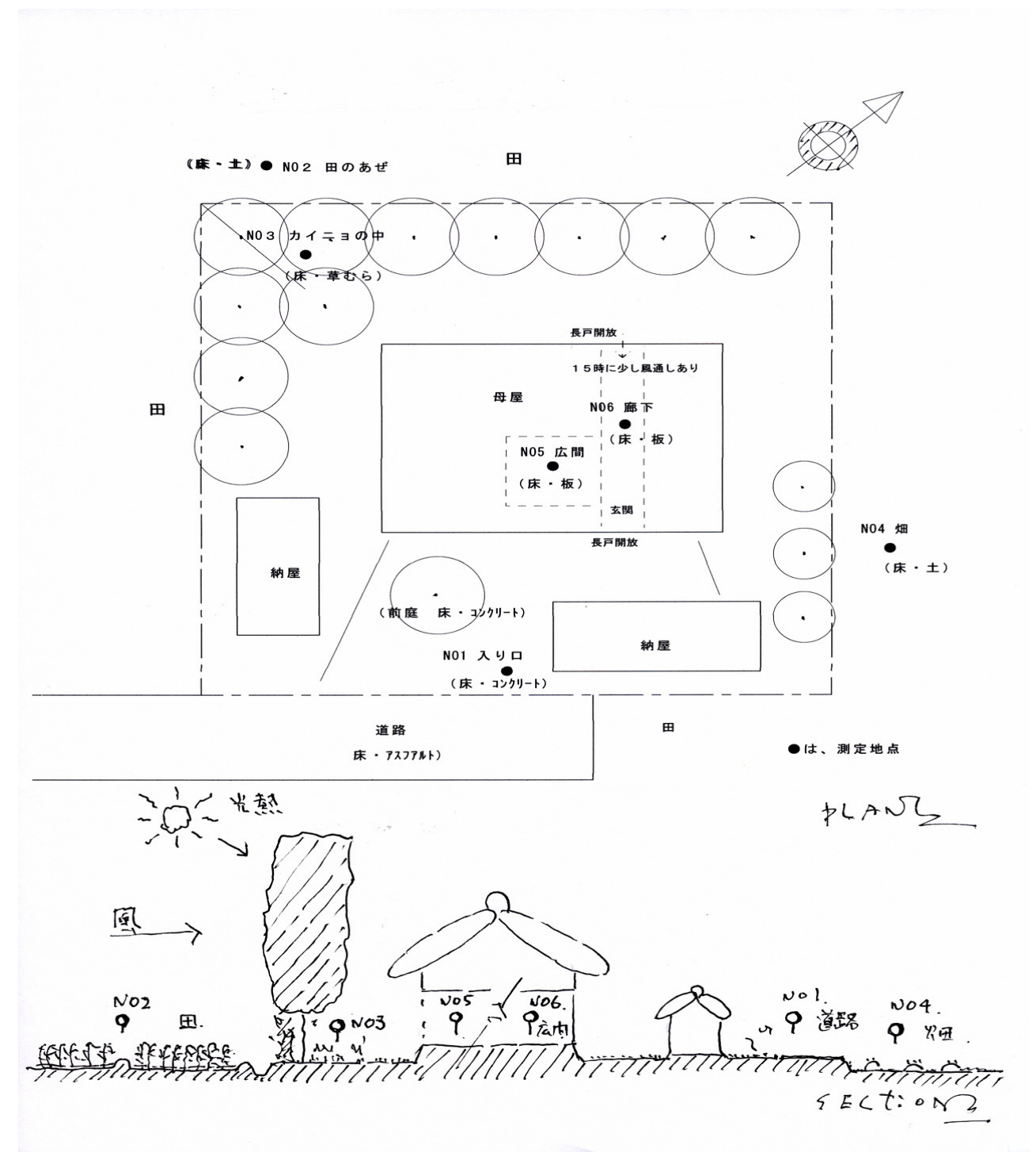
□内容 8時30分より 各所視察し 17時 終了

砺波カイニョ倶楽部からも、参加希望の方は、10月末日まで、事務局天野までご連絡下さい。

- 「うるおい環境とやま賞」に、当倶楽部が応募し一次審査を通過。9月30日11時30分より現地審査があります。会場は、平成24年度の元井甚正さん宅の植樹事例です。時間の許す方、お越し下さい。
●滑川の見学会の写真を参加者にお送り致しましたところ、お礼の連絡が届きました。世話人として、嬉しく思っています。
●自民党本部でのヒヤリング等を記した会報を、衆議院議員 橋慶一郎先生へお送り致しましたところ、先生より、お礼と倶楽部への励ましのお言葉を頂きました。

■■■カイニョの掃除宅を募集します。事務局天野へ連絡下さい■■■

●◎散居村の伝統的家屋の屋外・屋内の気温測定位置●◎



散居村の伝統的家屋の屋外・屋内の気温測定と提案 天野一男

■目的

散居村の田・カイニョ・伝統的家屋内・他の気温を測定し、暑さに関し家屋への提案を行う。
(夏に涼しく過ごすための家とは)

■提案

- ・建物外周の地面には、熱を吸収せず反射しない材料が良い(植物類)
また、水撒きなどを行う。 近隣建物と離し熱反射を控える。
- ・日差しの強い位置に、樹木を植え日差しを遮る。特に西面に。
- ・屋根を覆う樹木(ケヤキ等)があると、建物温度を下げる。2重屋根にする。土蔵など。
- ・最上階の天井の断熱を十分行う。屋根裏換気も十分に確保する。
- ・軒や庇を設け、直射日光の入射をさける。
- ・スタレ等を軒や庇に吊す。(壁面から30cm以上離す)
- ・風上に窓を設け、通風を確保。
- ・室内では、目から涼しさを感じさせる。風鈴もよい。
- ・建具も簾戸に。

□冬を暖かく過ごすには

外部からの熱を利用し、屋内の熱を放出しないようにする。
南の太陽光を利用し、屋根・壁・開口部の断熱を図る。

◇総論

伝統的家屋の1階広間30.5℃は、入り口36.0℃に比べ気温は5.5℃低い。

このことは、1階広間にエアコンが必要ない理由であろう。

また、この家屋の外部と内部の建具を開放し、通風を確保すると、より快適な空間になる。

水のある田・カイニョ・大きな断熱した屋根の3要素が重要であることを確信した。

現代住宅では3要素を全て確保する事は難しいが、側面からの日射を防ぐことは言うまでもなく、それ以上に、屋根に直射日光が当たる時間が非常に長いため、屋根からの熱の進入を防ぐことが最も建築的に重要である。

つまり、最上階の天井面で断熱し、屋根裏の換気を十分行うことである。事例は土蔵である

そして、日本は高温多湿の気候風土で雨も多い。だから夏は窓を閉めエアコンを駆動させるのではなく、室内への直射日光を避け、風を通し、屋外の植物の木陰を頂き水を撒き、感性を働かせ涼しさを感じる生活も必要ではないか。

今回測定出来なかったが、縁側(土縁)があると、外部の環境(熱・直射日光)が直接室内に入らない。また、冬場に干し物も出来る。縁側は先人の知恵の固まりで日本だけの外部と内部の中間領域で生活を豊かにするはず。縁側を設けてみては如何だろうか。

■測定概要

□日時：2015年平成27年8月4日 (14時00分と15時00分の2回測定)

□天候：晴れ 微風 □気温(気象庁)最高34.0 最低22.9℃

□測定場所：砺波市小杉495 出村忍宅

□測定者：砺波カイニョ倶楽部 天野一男・出村忍

・測定位置は、地面より1.3m程度 ・温度計を設置し10分後に測定

・温度計は一般品 ・田には、水があり、稲は70cm程度

■測定結果

(単位：℃)

	NO1	NO2	NO3	NO4	NO5	NO6
	入り口	田のあぜ	カイニョの中	畑	広間	廊下
14時	36.0	34.0	32.0	36.5	30.5	31.0
15時	未測定	35.5	31.5	33.0	30.5	30.0

なお、測定時刻14時00分は、太陽高度が高く、敷地周り4方向とも日差しあり

15時00分には、太陽は西に傾き、入り口と畑は日陰である



■測定位置の状況

- ・入り口：市街地に近い状況。床面がコンクリートで反射熱を感じる。
- ・田のあぜ：水があり、稲は70cm程度、周りの田の気温であろう。
- ・カイニョの中：杉等の高木の枝葉の下。木陰で、少し風を感じる。
- ・畑：野菜類はなく、少し草が生えている。
- ・広間(母屋)：伝統的家屋の1階の中心。外部と屋内建具は閉鎖。風通しはほとんど無い。
- ・廊下(母屋)：外部建具開放。15時に西より少しの風を感じる。

■考察

- ・入り口と田のあぜとの最高気温差は、2.0℃

この事は、地面の違いが大きいと思われる。コンクリートの地面は熱を吸収し反射させる。逆に、田に水がある稲は幾分か水分を含み気温の上昇を押さえる。

- ・田のあぜとカイニョの中との最高気温差は、4℃

カイニョは日差しを遮り、草の生えた地面と樹木の葉に含む水分にて気温を下げる。

- ・カイニョの中と広間との最高気温差は、1.5℃

伝統的家屋は、屋根裏に大きな空間があり、屋根や壁面に大量の隙間がある。

この事は、気温の上昇を防ぐに十分役に立っている。大きな断熱材である。

建物の室内温度の上昇は屋根面からの熱の進入が大きな要素である。

(事例：町家の1階より2階が暑い)

- ・田のあぜと広間との最高気温差は、5.0℃

- ・入り口とカイニョの中との最高気温差は4.0℃。
市街地とカイニョの中の気温差はもっと大きい

- ・入り口と広間との最高気温差は5.5℃

市街地は入り口より気温は高いだろう。

市街地が35℃でも、散居村の伝統的

家屋内は、29.5℃で涼しい。

- ・日差しをさけると気温は大きく下がる。

(畑の気温差3.5℃)

- ・西日は気温上昇を大きくする

(田のあぜ気温差1.5℃)



測定宅の西面からのカイニョ



測定したカイニョの中



道路と入り口

屋敷林・散居村・生垣等の地域景観資源の 保全・活用に関するWT

説明資料



砺波の散居村の家を囲む屋敷林（カイニヨ）

（2015）平成27年7月15日

砺波カイニヨ倶楽部

目次

- 1-1. 目標と課題
- 1-2. 散居村は世界遺産
2. 風の倒木と搬出
3. 風の倒木理由と対策概要活動
4. 落ち葉や枝葉の再利用
(固形燃料RDF)
5. 落ち葉や枝葉の固形燃料化の流れ
6. 砺波カイニヨ倶楽部 概要と活動
7. 屋敷林と活動写真
8. 倶楽部会報



参考

- 屋敷林を、砺波地方では「カイニヨ」と呼ぶ
- 韓国の子供達15名を2回、散居村見学会に

1. 目標と課題

■屋敷林のある散居村■

目標

■世界遺産■

— 散居村は世界に誇る日本の農村の原風景 —
未来へ引き継ぐ、生活と文化

- 散居村は、点在した農家形態で世界に類がない
- 屋敷林は、
 - 「自然との共生の手本」 先人の知恵の宝庫である
 - 世界が求めている共生 —
 - 「情操教育の場」 多種の生き物の生死のドラマがある
 - 世界人としての日本人の育成 —

よって、散居村と屋敷林は、外国人が非常に興味を抱き、来日

住民との交流・経済効果が増加

しかし、現在、屋敷林は、衰退している

- 理由は・落ち葉や枝葉の処理が出来ず、伐採
- ・風の倒木が心配で、伐採

衰退した屋敷林の回復が必要

■屋敷林の回復に関する今後の必要事項

1. 植樹（敷地を広く・都市計画法との調整）
2. 落ち葉や枝葉の再利用（固形燃料RDF）
3. 軒樋の落ち葉対策（雨樋ヘルメット等）
4. 外国人を含めた屋敷林管理講習会

1 - 2 …散居村は世界遺産…

屋敷林のある散居村 人類の知恵を明日へ!! 新しい価値の創造

1 現状と課題…プラスへの転換… $\ominus > \oplus$ を $\oplus > \ominus$ に!!

- ① 各人の思い…カイニヨの実利がない ないほうがよい 米づくりでは生きられない
- ② カイニヨの維持…手間をかけられない 掃除・管理できない 高齢化 倒木のリスク
- ③ 空き家の発生…カイニヨが荒れて人が入れなくなる 地域の邪魔もの

2 解決策

① 位置づけと視点；屋敷林の回復…とにかく植樹植栽!!…増やす努力

- ◇カイニヨは、個人のものであると同時に、となみ散居村；砺波平野全域の環境
- ◇景観は、観光面でも宝物 地域全体の財産 全体で維持するもの
- ◇昔から米づくりで共生してきた農村社会の仕組みが基本

② 方策

◇カイニヨの価値再考と教育…物質的価値・精神的総合価値を理解し合う

○継続的な学習(子供の時のカイニヨ体験、学校教育、生涯学習)

⇒情操教育・人間教育の場；大学ゼミ、中学・高校の修学旅行、小・中学校の自然ビオトープなどとして、そのまま教材 子育て環境；天然の保育所

○基礎研究(調査研究)…湯川秀樹の父 小川琢治「孤立荘宅」

温度、風雪、CO₂など環境効果の測定…

共生のサイクルや仕組みづくりを学ぶ

危機管理のための生活の知恵；自給自足可能な生活空間

○カイニヨの歴史、今日的価値の探求…世界に発信 カーター「オー テンプルズ!!」

◇カイニヨの持ち主が維持に全力を尽くす…新しい価値に目覚め

◇地域・行政が協力体制をとる…持ち主と同レベル

方策と組織 財政支援 屋敷林管理講習会開催 散居村サミットの継続 …

◇民間の支援体制

森林組合・造園業・建設業・レッカーなどの合同協力組織を、地域ごとにつくる

◇高齢者宅や空き家のカイニヨ支援策…カイニヨお手入れ支援隊の活動

◇カイニヨに関心を持つ多様なチームづくり

◇民泊による都市との散居村体験交流…グリーンツーリズム 特色ある民泊；住宅/住民

◇米づくり特区、地産地消、水路の活用(水車らせん水車、発電、遊び場…) など

◇花と緑と実のなる木 下草；薬草・山野草・食草…

3 緊急の対応策

① カイニヨ維持への支援

落枝葉の固形燃料化(RDF) 雨樋対策；雨樋ヘルメット

焼却場への運搬費や利用料の援助 野焼き焼却も

倒木の始末と次世代の植栽

② カイニヨ維持支援組織の確立…地域ごと

ボランティア；砺波カイニヨ倶楽部 カイニヨお手入れ支援隊 自治会…

③ 空き家のカイニヨ維持

空き家取り壊しと建築資材の再利用 開田の途

2. 風の倒木と搬出

- 倒木理由：戦中以後、生活様式の変化等により樹木が多数伐採され、逆に屋敷林が風に弱くなり倒木
- 倒木対策：樹木を植樹し、樹木全体で風に耐える
- 問題点：屋敷林の外側に植樹する際、敷地を大きくする必要があり、法律上敷地を大きくできない。

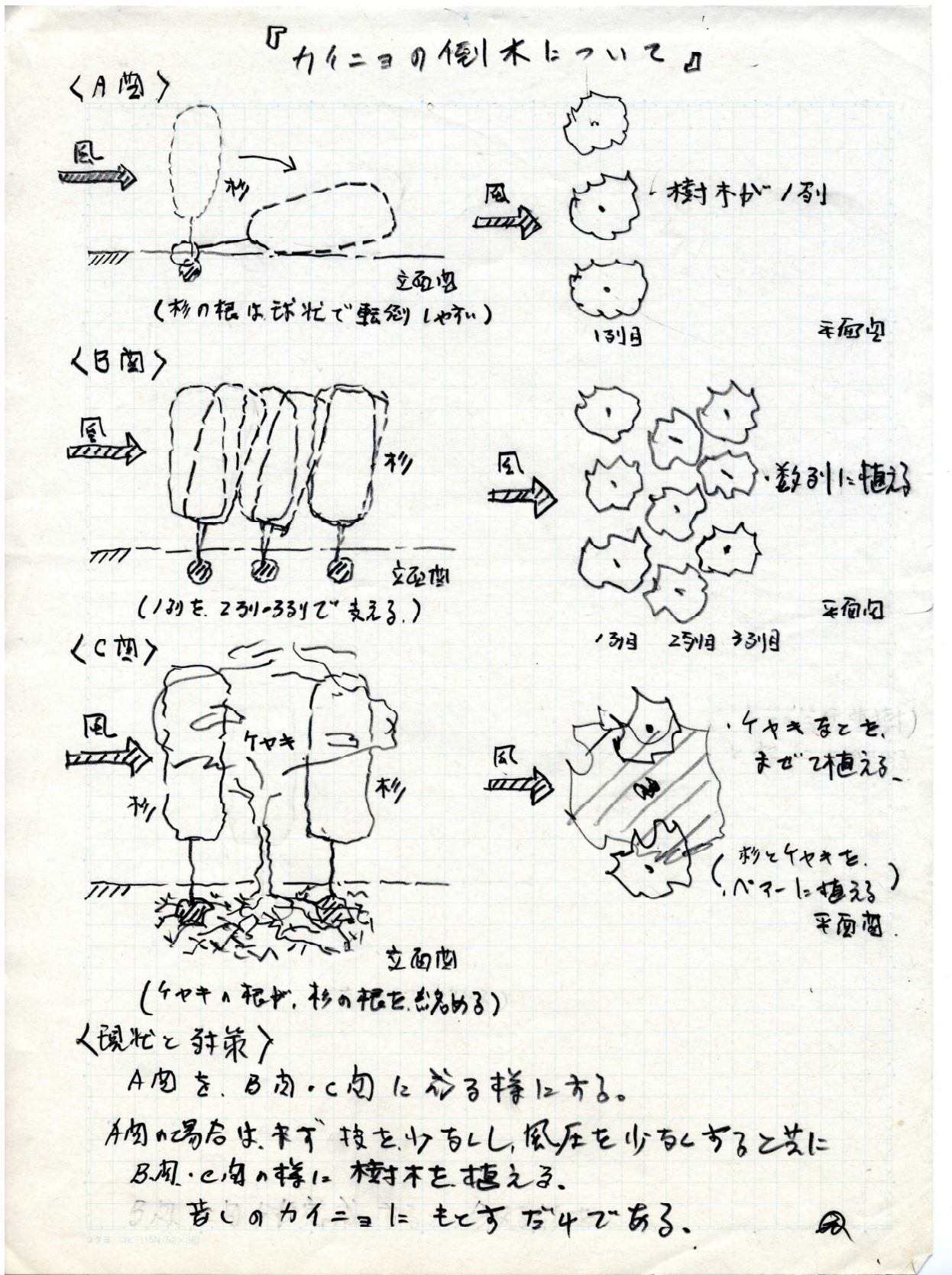


平成16年 台風23号での倒木



倒木樹をレッカーで搬出

3. 風の倒木理由と対策概要



4. 落ち葉や枝葉の再利用（固形燃料R D F）

□現状：落ち葉や枝葉は燃料として利用されていたが、燃料の変化（石油・ガス・電気等の普及）により、ゴミとなった。

よって、屋敷林が邪魔物とされ、伐採されている。

■対策：落ち葉や枝葉を固形燃料に加工し、再利用する。

この事は、危機管理上、地元で燃料確保が出来る一つの方法である。

よって、再度、屋敷林が生活に役立つ。



スンバ（杉の葉）



固形燃料（R D F）に加工



燃焼

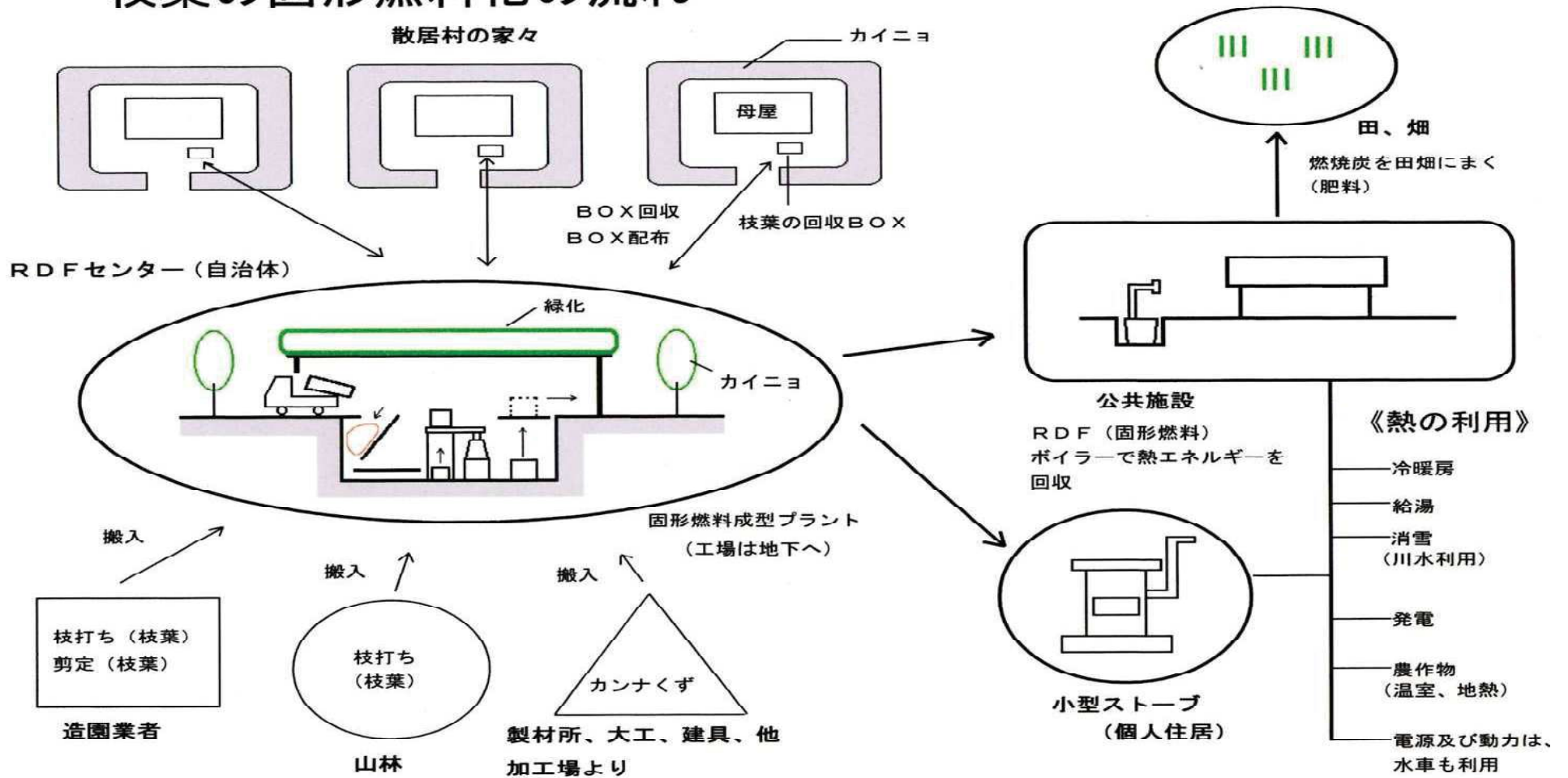


ストーブ等で熱回収

5. 落ち葉や枝葉の固形燃料化の流れ

平成16年に田園空間整備事業となみ野地区推進協議会より、一戸の屋敷林からの落ち葉や枝葉の発生量調査依頼を受けた。その際、心配していたゴミとの区別は満足され、問題なく、落ち葉や枝葉だけを回収できる確証をえた。

枝葉の固形燃料化の流れ



6. 砺波カイニヨ倶楽部 概要と活動

□組織概要

1. 設立日時 平成9年4月12日

2. 会員数 80名(全国)

3. 組織 (下記役員は平成27年6月より)

代表幹事：出村 忍

幹事：柏樹直樹、小幡良和、堀 浩一、松田 憲、新川奈穂子、

会計：高畑邦男

事務局：天野一男、大甲りえ

監事：中田ちづ子

事務局住所 939-1366 富山県砺波市表町14-10

天野一男建築工房内 電話/FAX 0763-33-6588

ホームページ <http://www.kainyo.org/>

メールアドレス amano.kazuo@ivory.plala.or.jp

■活動一覧

1. 勉強会(講演会等) 16回

2. 見学会 25回

3. 掃除 18回

4. 植樹 6回

5. 展覧会 3回

6. 発表会 2回

7. 調査協力 1回

8. 管理研修会 2回

9. フォーラム 1回

■受賞

平成15年「北日本新聞社地域社会賞」

平成17年「第54回富山県農村文化賞」

平成19年「地方自治施行60周年記念総務大臣表彰」

平成21年「富山県功労表彰」



7. 屋敷林と活動



屋敷林（カイニヨ）



屋敷林内部



屋敷林内の掃除



植樹



屋敷林の管理講習会



全国屋敷林フォーラム開催

□行事実施内容

- 平成 9年4月12日 設立総会・浄光寺にて和田健先生の演題「屋敷林の美」講演会と植樹
石崎安次郎宅のシダレザクラの見学会（35名）
- 7月4日 城端の根井仁一宅のカイニヨ見学会（51名） 石黒さん宅のスタジオの見学会
- 9月27日 砺波市光円寺のカイニヨの掃除（25名）
金平正二・尾田武雄さんから地域とお寺の歴史を学ぶ
- 11月21日 砺波市円成寺にて「落ち葉の会」会員と食事をしながら語り合う会（13名）
- 平成10年4月5日 高岡市浅香五十鈴さん宅のカイニヨの掃除とオペラを聞く（30名）
- 5月16日 総会・旧中島家のカイニヨの掃除と新藤正夫先生「中島家と砺波地方」講演を聞く。
- 7月5日 砺波市 野松欣一さん宅のカイニヨ見学会（33名）
- 8月10日 砺波市 福井浩さん宅のカイニヨ見学会と樹木の高さ測定と和田先生より話を聞く。
また、福井宅見学。（35名）
- 11月1日 砺波市 竹部丈夫さん宅で炭焼き体験（30名）雨樋ヘルメットの情報提供
- 平成11年4月11日 城端駅より歩いて、山田川支流右岸の桜見学会と善徳寺見学会（23名）
- 5月30日 総会・砺波市 旧中島家のカイニヨの掃除と
天野より「これからの住まい」と題し講演を聞く。（15名）
- 7月4日 旧中島家で國重正昭先生より「外から見た散居村の屋敷林」と題し講演を聞く。
- 8月7日 砺波市 高田隼水さん宅のカイニヨ見学会（19名）
- 10月20日 砺波市 出村忍さん宅のカイニヨの掃除（11名）
- 12月12日 旧中島家にて「田園空間博物館構想」について 富山県 鈴木氏と意見交換会
- 3月14日 砺波市 旧中島家に國重正昭先生と桜を植樹。
- 平成12年4月2日 砺波市 青山さん宅の大杉と牛嶽神社・五社神社の樹木見学会
- 5月25日 総会・旧中島家にて「田園空間博物館計画」について勉強会
- 8月20日 高岡市 浅香五十鈴さん宅のカイニヨの掃除とオペラを聞く（30名）
- 10月29日 砺波市 林 梅夫さん宅のカイニヨ見学と林先生の話聞く（25名）
- 11月16日 福光町 梅原邦荘にて「カイニヨ祭り」を開催。古い空き家の民家を料理やに改築。
- 平成13年3月11日 砺文化会館で長井真隆先生に「21世紀の散居と屋敷林」講演頂く。（46名）
- 6月10日 総会・旧中島家にて「雨樋ヘルメット」の説明を高木さんから聞く（18名）
- 8月12日 砺波市 中島宅にて散居村・カイニヨ・民家の展覧会開催。（40名）
- 8月7日 東京にて、シホジューム「食料と環境の新時代」で我が倶楽部の活動報告をした。
- 11月10日 砺波市 矢農さん宅のカイニヨの掃除（16）
- 12月1日 砺波市 旧中島家にて「田園空間博物館構想」について勉強会 47名）
- 平成14年5月18日 総会・旧中島家にて松久 宅先生に「外から見た屋敷林」と題し講演を聞く。
- 7月6日 砺波市 厳照寺の樹叢見学会（25名）
- 9月14日 井波町 杉森さん宅のカイニヨ見学会（28名）
- 5月24日 総会・意見交換会「20代の若者より話題提供していただいた」（20名）
- 平成15年7月5日 石川県松任 手取り川の集落とカイニヨ見学会（22名）
- 8月30日 千光寺の掃除と見学（23名）
- 10月4日 宮崎さん宅のカイニヨ見学と鹿島神社の樹叢見学（26名）
- 11月21日 北日本新聞社地域社会賞受賞祝賀会（30名）

- 12月13日 北日本新聞社地域社会賞受賞記念講演会（写真家 風間耕司先生）26名
3月21日 大島さん宅の掃除（15名）
- 平成16年5月16日 総会・講演会「壁にこだわってきて」石崎勝紀氏。
6月10日 長野県議会議員訪問にて杉森宅を案内
7月 3日 「庄川と生きる」をテーマに合口ダムから河口までを見学。19名
28日 屋敷林における有機性資源の発生量調査を受託
（田園空間整備事業となみ野地区推進協議会より）
9月17日 屋敷林の写生展開催。庄南小学校4年生。林清納先生の講評を頂く。30名
12月11日 「これからのカイニヨ」と題し、台風23号の被害と今後について語る。53名。
（16年より、屋敷林の資源発生量調査の協力を行った）
- 平成17年5月28日 総会・講演会「新聞からみる第2次大戦の供木」古川春夫先生。22名。
6月 5日 昨年台風23号での倒木被害者、野村光男さん宅で「植樹」を行った。28名。
8月21日 「カイニヨ見学会」を城端地区で行った。
8月27、28日 鉢伏の展望台より散居村を眺めての語り合い。11名。
屋敷林における有機性資源の発生量調査 終了
- 11月18日 第54回富山県農村文化賞受賞
12月 6日 祝賀会「第54回富山県農村文化賞」
- 平成18年4月15日 掃除（水上宅・砺波市中野 大きなカシの木）
5月27日 総会 講演会・海外から観た散居村（寺田氏 福光道の駅支配人）
8月12日 カイニヨ見学会（成川宅・石崎宅 城端と福光）
9月07日 庄南小学校5年生のカイニヨ写生の発表会と林清納先生の批評
11月25日 富山カイニヨ見学会（竹島家・深山家・月岡神社・他）
- 平成19年4月 7日 植樹会（高畑さん方 砺波市 35名）
5月20日 総会 講演会・「散居とカイニヨと人々」砂田龍次先生（散居村ミュージアム館長）
7月14日 樹木の見学会「恩光寺のスギ・サイカチ群生地・松島大杉・エドヒガン桜」23名
10月 6日 10周年記念植樹と講演会（和田健先生）
11月17日 掃除（万福寺・太田）と講演・尾田先生
12月18日 臨時例会（10年間の倶楽部の活動と今後の進め方）
「地方自治施行60周年記念総務大臣表彰」報告
- 平成20年4月 5日 植樹会（中村さん方 南砺市 37名）
5月24日 総会 講演会・古川先生（中国青蔵鉄道と雲南省シャングリラ）
7月 5日 富田利彦宅のカイニヨ見学と福野園芸植物園で生け垣の研修会
11月 1日 カイニヨの掃除「矢農正友さん宅」
- 平成21年3月20日 カイニヨの掃除「砂田さん宅」
4月14日 パナソニック表彰しに来社「*61」
5月31日 総会 講演会・「散居村景観について」清沢氏（市教育委員会）より「*64」
7月 4日 黒部川扇状地の屋敷林見学会（25名）
10月31日 南砺市のカイニヨ見学会（26名）西田、根井、和田宅と井口分水を
11月 2日 富山県功労表彰式（県庁にて）
12月 4日 富山県功労表彰祝賀会（28名 ミュージアムにて）

- 平成22年3月27日 カイニヨの掃除「河島さん宅」(18名)
 6月6日 総会(中島家)
 7月25日 長野県安曇野屋敷林見学会「*65」
 10月23日 「2010 全国屋敷林フォーラム in 砺波平野」開催
- 平成23年4月16日 カイニヨの掃除「高田さん宅」「*66」
 5月28日 総会(中島家)講演・福光美術館 奥野館長「カイニヨの楽しみ方」「*67」
 7月1日 報告書発行「2010 全国屋敷林フォーラム in 砺波平野」
 7月9日 南砺市福光のカイニヨ見学会(福光監的)「*68」
- 平成24年2月20日-3月20日「児童のカイニヨ壁新聞展」共済 散居村ミュージアム「*69」
 4月6日 カイニヨの掃除(高畑邦夫さん宅)「*74」
 4月26日 記録書発刊 「カイニヨ壁新聞展」
 5月26日 総会 講演会・砺波農林振興センター山下大樹課長に「4年生の総合学習でカイニヨをテーマに」「*71」
 8月4日 福野高校学校林・巖浄閣と稲垣宅カイニヨ見学「*72」
 10月6日 植樹(元井甚正宅)「*73」
- 平成25年5月25日 総会 講演会・砺波農林振興センター山下大樹課長に「里山林の現状と屋敷」「*75」
 7月20日 小矢部見学 八幡宮とカイニヨとクロスランドタワーより「*76」
 8月20日 カイニヨ剪定講習会 (ミュージアムにて)「*77」
 10月16日 能登の羽咋へ カイニヨ見学会(23名)「*78」
- 平成26年4月12日 カイニヨの掃除(出村宅 12名)「*79」
 5月24日 総会(中島家) 講演会・近江設計所長 近江俊郎氏に「出町とまちづくり」
 7月19日 南砺方面カイニヨ見学会(22名)山本宅・不吹堂級長戸辺神社・樹木測量「*80」
 10月11日 立山町カイニヨと立山博物館見学(26名)「*81」
- 平成27年4月4日 カイニヨの掃除(宿泊体験施設 佐々木邸 15名)「*82」
 5月30日 総会 講演会・中島利明氏「あしたの森といのち」18名

子ども達をふくめ、沢山の参加で植樹

- 土地にあった元気なカイニョを -

4月5日(土)中村淳さん宅(南砺市高宮)で植樹行事を実行した。大変おだやかな日和の中で、カイニョ倶楽部会員と地元の子どもや親の参加もいただき、総勢37名の大行事となった。中村さん宅は新築5年目でまわりに少し木は植わっていたが、庭敷地約600㎡のエリアを使い、20種54本の植樹を試みることにした。今度の植樹は得能金市さん(会員)の積極的なご協力、中村さん宅での設定や地区の児童会や役員の方にも声をかけていただき、地元から約20名(うち7名子ども)の参加をいただいた。



みんなで楽しい植樹

今回のカイニョづくりのテーマは「土地にあった元気なカイニョを」として、3つのエリアで樹叢の「かたまり」をつくった。「スギ、エノキ、サワラ」、「タブ、ウラジログシ、スタジイ」、「ケヤキ、サワラ、サクラ」の3グループでそれを支える中低木と花木を配置した。10年、30年、50年の節目でその変化を見ることにし、特に参加した地元の子ども達に関心をもって見てもらう意味を、柏樹代表幹事ははじめの挨拶で強調した。この三つのグループは、潜在植生で、風雪に強く、花木も混り、沢山の手入れをしないで樹叢をつくることを想定した。この植樹は、得能さんや、中村さんの御理解を得て実現できたもので、これからの成長と変化に注目したい。

当日は、9時から10時過ぎまで参加者全員で心をこめて、楽しく、予定したところに、植樹した。その後、一服し、得能金市さんから、地区の古事、歴史、地勢について話を聞いた。なかでも、医王山の直下において「ニューヨークはどの方向か」と問題提起され、子ども達はもちろん、参加者一同真剣に考え、その回答を得るまで、沢山の笑いが起きた。

「高宮」は、ヨミの国との境の古い歴史のところで、神代の話や仏教の繁栄したこと、まわりの「ヤドメ谷」、「ウシノケ」の集落名は源平合戦にまつわること、小矢部川の地下水と常風との関係、アイヌ語の入っていること、村と村の境のこと、ヒメ神社の由来、まわりの山々のこと、隣の金沢市とのかかわり等、多岐にわたる地元の方ならではの話に一同感心しきりの楽しい一時をもらった。

中村さん宅での植樹は11時過ぎに終わった。

今回は地元の方々が参加され、子ども達と一緒に木を植えることができ、カイニョ倶楽部の新しい結果をつくることになった。この模様を富山新聞、北日本新聞、北陸中日新聞が次日報道した。



子供達も大きくすくすく育つ事を願い植樹

参加した会員の声

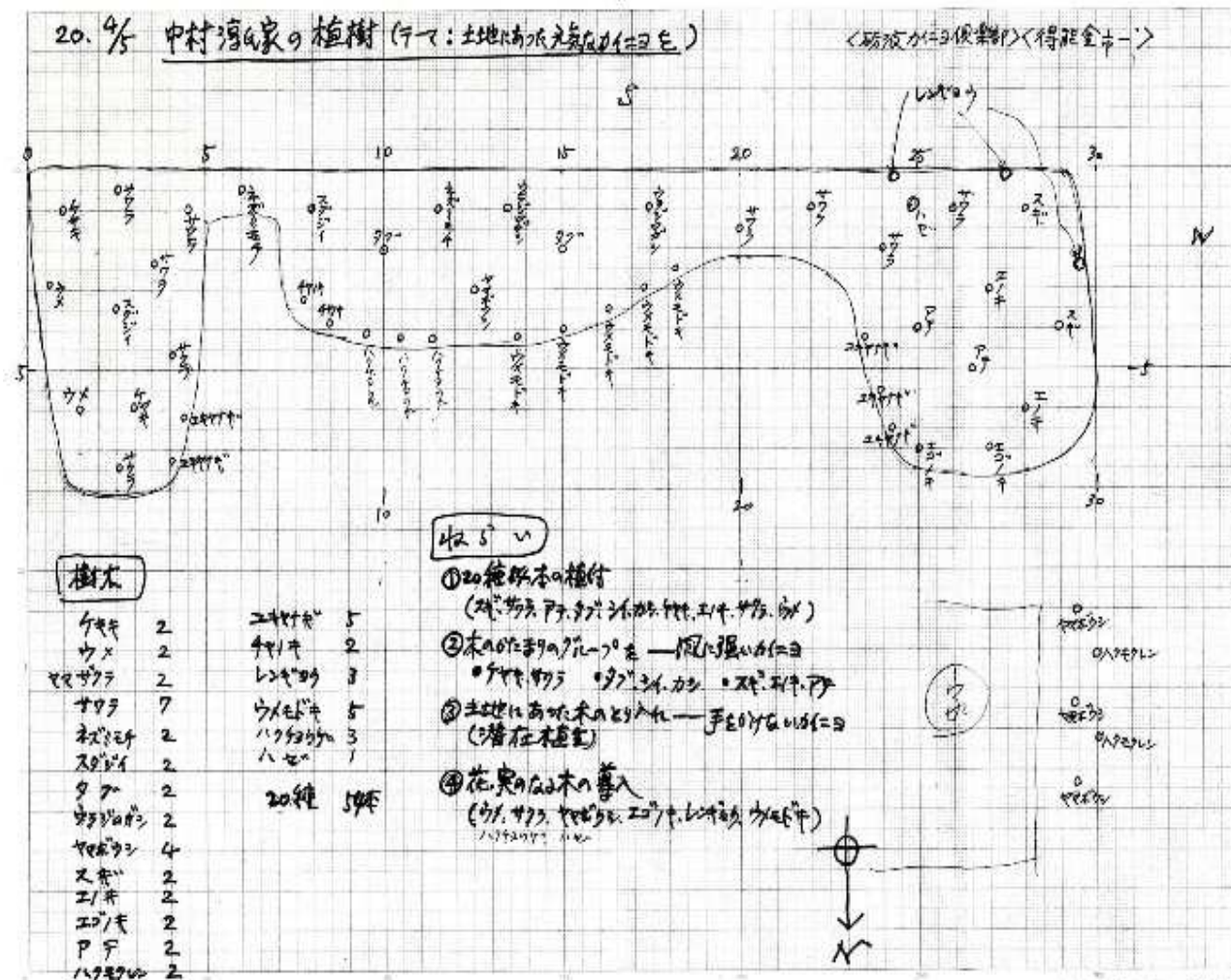
- これほど思い切った面積をフリーに植樹設計し植えることができ、会員として大変な責任を感じた。
- 沢山の種類の木を植えられて将来が楽しみ
- 山からの風の強いところと思われるが、それに耐えるカイニヨになってほしい。
- 子ども達が沢山参加し、一生懸命に植え、話も聞いていた。雰囲気が大変よかった。

■ 総会案内

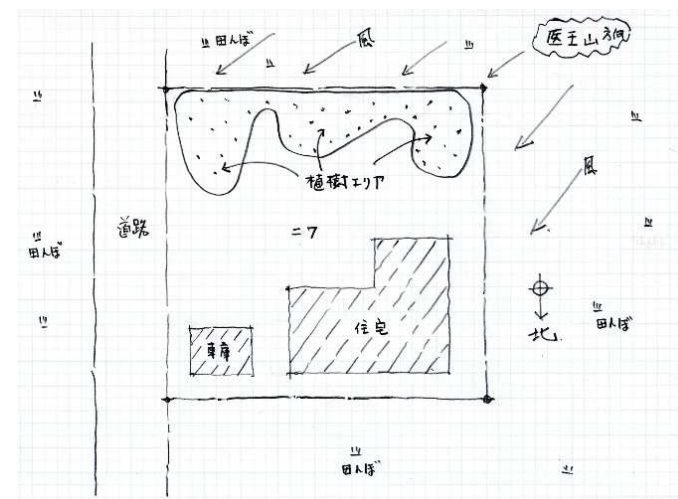
5月24日(土) 午後1時30分から、中島家(チューリップ公園内)にて、総会を開催致します。19年度の事業・決算報告と20年度の活動計画が議題です。

そして、総会のあとに講演会を開催します。

「中国青蔵鉄道と雲南省シャングリラ」の演題で、古川春夫先生のお話(スライドも)を聞きます。



樹木の配置図



敷地の配置図